

ケニアの住民主体の国際協力を感じてみよう！

住民が変わり、社会が変わり、私も変わる！

現地で活動する3つの団体から
生の声をお届けします

事業紹介

- ・エイズ孤児を抱える貧困家庭の生計向上とキャリアプランニング支援
藤原 祐希 (エイズ孤児支援NGO・PLAS)
- ・持続可能なスナノミ感染症対策プロジェクト
神谷 保彦 (長崎大学)
- ・スマイルトイレプロジェクトー住民主体のトイレ建設ー
篠原 大作 (日本ハビタット協会)



座談会

「現地での活動のここが面白い！」

ファシリテーター
パネリスト

篠原 大作 (日本ハビタット協会)
藤原 祐希 (エイズ孤児支援NGO・PLAS)
山口 和美 (エイズ孤児支援NGO・PLAS)
鈴木 佳奈 (長崎大学)
板倉 由佳 (長崎大学)

2022年 7月 2日 (土)

14 : 30 ~ 16 : 00

オンライン形式 (Zoom)

入場無料 ※事前予約制



【事前予約について】

上記QRコードの参加申込ページから、6月29日までに
お申し込みください。

お問い合わせは、認定NPO法人日本ハビタット協会ま
でご連絡ください。

共催 認定NPO法人日本ハビタット協会
独立行政法人国際協力機構東京センター／独立行政法人国際協力機構九州センター
協力 特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS／国立大学法人長崎大学

地域住民主体のより良い社会の創造

JICA草の根技術協力事業では、NGOや自治体、大学等が、以下の3つを大切にしながら、これまでに培ってきた経験や技術を活かして事業が実施しています。

- ① 人を介した「技術協力」であること
- ② 開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ内容であること
- ③ 日本の団体がいき、日本の市民が国際協力に対する理解・参加を促す機会となること

現地の人々が自らの力で自分達の地域社会をより良いものにしていけるよう支援していくことが、その地域の将来を考える上で、とても重要となります！

【事業紹介】 とともに創り上げていく

ケニア西部ホマバイ郡にて、JICA草の根技術協力事業を実施している3団体がどのように現地協力団体や地域住民、行政機関などと連携しながら、事業をしているかを紹介します。

各団体の活動紹介を通して、JICA草の根技術協力事業で大切にしている、「与える」ではなく「ともに創り上げていく」活動とはどういうものか一緒に考えましょう。

パネリスト紹介：



藤原 祐希
エイズ孤児支援NGO・PLAS



神谷 保彦
長崎大学



篠原 大作
日本ハビタット協会

【座談会】 現地での活動のここが面白い！

国際協力分野で活動している職員たちは、現地の人々とどのように協力して活動をしているのでしょうか？

活動の苦労や面白エピソードをとおして、国際協力分野で活動する職員たちのリアルをお届けします！

現地で実際に起きていることを少しでも感じてもらいたいです。



聞いてみたいことや知りたいこと等がありましたら、予約時の予約フォームにお寄せください。
みなさまからご質問をおまちしています！

タイムスケジュール

- 14：30～ 開会挨拶（JICA東京センター）
- 14：35～ 活動報告（各10分）
- 15：05～ 休憩（5分間）
- 15：10～ 座談会／質疑応答
- 15：55～ 閉会挨拶（JICA九州センター）
- 16：00 閉会

— お問い合わせ —

認定NPO法人日本ハビタット協会

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ103号

Tel/Fax: 03-3512-0355 Email: info@habitat.or.jp HP: www.habitat.or.jp